

第11次新潟県職業能力開発計画に対する委員のご意見（計画の内容に関するもの）と対応

1 計画の内容に関する意見等（第80回審議会まで）

委員	意見（事前照会・審議会当日分）の内容	素案への対応
大原委員	・国の計画に書かれている、「主体的なキャリア形成」という表現は、どこかに必要ないか。	・「キャリアコンサルティングの強化」として項目追加。主体的に職業生活設計を行う旨を記述【P. 27 第3章2(7)】
	・テクノスクールの利用促進のために、テクノスクールにおいても高度なIT人材の育成コースを拡大、充実させることは出来ないか。	・既設コースでデジタル化に応じたカリキュラムを導入するとともに、企業のDX化に応じた新たなカリキュラムを実施することなどを記述【P. 20 第3章1(4)】 また、団体等に施設貸出が可能であるため、デジタル関係も基盤が整えば利用いただけると考えています。 ・IT人材の育成は、スキルレベルに応じた階層的なコースを設置することで記述。なお、高度人材育成は大学やNICO等と情報共有及び役割分担を図るとして記述【P. 20 第3章1(2)】
	・今後は外国人の活用、働きやすい環境などを盛り込んだ方がよいのではないか。	・人手不足分野を中心に外国人労働者が増加することが見込まれることから、ニーズに注視する旨を記述【P. 20 第3章1(3)】
桑原委員	・若年求職者等の安定就労について。若年層の県外流出を防ぐために、県、地元企業、学校が連携したキャリア形成教育、就労支援などに力を入れることで、長期的な労働力引き上げに繋がるのではないか。	・計画本文で記載。職業選択支援、デュアルシステム訓練など本文に記述【P. 24 3章2(3)ほか】
佐藤委員	・人口減少、労働力人口の減少下の中で、地方が選ばれるためには、女性の活躍は重要であると思う。今回の計画の中で、女性が活躍しやすい環境を目指すことを一つの項目として掲げることにより、明るい将来像が示され、本県の優位性を高めることにつながるのではないか。	・「女性活躍促進として項目追加。在宅でWeb系の訓練など記述【P. 23 3章2(1)、P. 25(4)】
	・障害者訓練の目標値について、入校者数が少ない中で就職者数を目標とすることは難しいと考えられる。率とした場合の基準など検討しているか。	・実情を考慮して就職率とすることを検討します。 【成果指標】
徳武委員	全体的に県内産業の長期的課題を的確に捉え、対応を図ろうとする案になっていると思いますが、「デジタル化」と比較して「高付加価値化」「脱炭素・環境への対応」といった点に関する課題認識や施策が見え難いと感じる。これらは「成長分野」に包含されているのかも知れないが、県内産業にとってとりわけ重要な課題であることから、個別に記載するなどした方が良いのではないかと思う。	・グリーン社会、デジタル化の加速に関する産業の変化を捉えて対応できるよう、訓練カリキュラムやコースの設定が柔軟にできることが必要である旨を本文の中に記述【P. 18- 第3章1(1)、(2)】
	・「技能の振興・継承」については、最近では「人から人へ」に加え「人からデジタル（等のテクノロジー）へ」の継承に取組む事例も少なくない。「DX」に包含されるのですが、県内では特に熟練技能とデジタルを結び付ける人材育成も必要なのではないかと考える（職業訓練から外れるかもしれませんが）。	・技能の振興・継承の中で、技能継承の方法について新たに記述【P. 27 第3章2(8)】

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による接触機会の削減の継続の必要性、「在職者訓練」「女性、高齢者」（育児、介護、ひとり親等）」「障害者」などの能力開発の重要性が増している中で、カリキュラムや訓練時間（期間やタイムテーブル）、オンラインの活用を含めた場所など、より一層訓練への参加のハードルを下げる配慮、工夫が必要になると思います。こうした点について従来以上に丁寧に記載していただきたいと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練にオンラインを導入することを記述。受講しやすい環境を整備することと、都市部でなくても訓練の受講機会が得られるような工夫することを記述【P. 19 第3章1(2)、P. 23 2(1)、(2)ほか】
櫻井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・非正規雇用労働者等のキャリアアップ支援は重要。現実問題として派遣社員が需給調整となっている。能力開発の機会が得られるなど、支援の施策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画本文で施策の展開を記述【P. 25 3章2(4)】
渋谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・育児、介護は女性に限ったものではないので、別出しにした方がよいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として子育て、介護などは女性にとって負担となっている実情を踏まえて、女性活躍促進で記述しているものの、事業実施にあたってはご指摘どおり性別は問わず展開します。 ・関連章の冒頭に、働き方改革の必要性を記述【P. 23 第3章2(1)】

2 計画の内容に関する意見等（第81回審議会開催前の分）

委員	意見（事前照会・審議会当日分）の内容	対応
徳武委員	<p>1 産業構造・社会環境の変化を踏まえた能力開発の推進」（素案 P. 18）</p> <p>デジタル化に関しては求められる技能等が比較的明確であると思うが、カーボンニュートラルや温室効果ガス削減等のグリーン化については、企業毎にアプローチの仕方はそれぞれ違い様々だと思われる。</p> <p>求められる人材・技能も多様なものとなると思われるので、産業界のニーズや動向等を十分に踏まえ、職業訓練のカリキュラムや内容とのミスマッチが生じないように留意が必要と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化やグリーン社会実現のための新たな産業が求める具体的な職種及び必要とするスキルを見極めて、訓練コースやカリキュラムを作る必要があり、同時にその知識や技能を指導する人材の確保・育成が必要と考えています。ご指摘どおり、産業界の動向等を把握して、ニーズにマッチした職業訓練を実施してまいります。
	<p>1ー（1）ーイ 在職者訓練による人材の育成（素案 P. 19）</p> <p>オンラインを活用した訓練の実施については単に通学の負担を減らせることに加え、リアルタイムのものばかりでなくオンデマンド配信で行うことにより、自分に合わせたペースで受講出来たり、文字や言葉で伝わりにくいところを映像で見せるなど、通常の講義以上に理解の促進を助ける事もできると思うので、在職者ばかりでなく、女性や障がい者向けなど、幅広く活用していただけると良いと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から「ITスキルアップ訓練事業」として、オンラインを活用したコースを実施。Webマーケティングのコースでは、一部の内容をオンデマンドでいつでも、どこでも見られるものを活用しており、今後も官・民が提供するコンテンツを活用したコースを増やして行きたいと考えています。 ・また、通所困難な障害者向けの訓練として、eラーニングを活用しており、より使いやすい内容としてまいります。
風間委員	<p>字句の修正（素案 P. 26）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修正しました。【素案P. 26 3章2(5)イ】